

第15回日本総合歯科学会学術大会の開催報告

木尾哲朗(大会長)
栗野秀慈(実行委員長)
永松浩(準備委員長)

第15回日本総合歯科学会学術大会(木尾哲朗大会長, 栗野秀慈実行委員長, 永松浩準備委員長, 長谷川篤司理事長)は、「総合歯科医の省察 Reflection as Dental Professions」のテーマのもと, 対面で令和4年11月5日(土), 6日(日)の両日, 九州歯科大学において, またWebで令和4年11月7日(月)～13日(日)の期間, オンデマンドにて開催されました。



開会挨拶 木尾大会長



長谷川理事長



栗野実行委員長

現地参加者は130名を超え, Webにはのべ1,300回を超えるアクセスがありました。7題の口演発表と33題のポスター発表がありました。現地にて学術奨励賞の審査が行われ, 最優秀口演賞は長澤伶先生(新潟大学), 最優秀若手ポスター賞は嶋田ひかり先生(新潟大学), 優秀若手ポスター賞は久保健太郎先生(九州大学)と岩本佑耶先生氏(新潟大学)がそれぞれ受賞されました。

大会1日目には久藤元先生(九州歯科大学 副理事長)による特別講演「企業の成長戦略としての省察」がありました。前職でのご経験を活かし, 企業でのPDCA改善サイクルの実践例と医療界・教育界への提言をしていただきました。

同じく1日目に木下俊克先生(きのした歯科クリニック院長, 九州歯科大学臨床教授)による教育講演Ⅰ「全身をみる, 生活習慣(態癖)を診る」があり, 頬杖や寝る時の姿勢などの態癖が顎骨や歯列, 咬合に与える影響について症例を元にわかりやすく講演していただきました。

2日目には藤井航先生(九州歯科大学)による教育講演Ⅱ「総合診療医が知っておきたい摂食嚥下の基礎知識」がありました。保険導入された「口腔機能低下症」に対する適切な診断と対応について, 摂食嚥下の基礎や評価方法, 摂食嚥下リハビリテーションの実際などについて動画を交え解説していただきました。なお教育講演ⅠとⅡは, 認定医研修会を兼ねて行われました。



特別講演 久藤先生



教育講演 藤井先生



教育講演 木下先生

2日目最後のセッションとなった「治療症例に学ぶ Reflection on clinical action」をテーマとしたシンポジウムでは木下俊克先生、木尾哲朗大会長の座長の下、大学から御手洗裕美先生（九州大学）と岡本康裕先生（日本大学松戸歯学部）、開業医から樋山めぐみ先生（広島県（医）湧泉会 ひまわり歯科）、板家朗先生（北九州市 いたや小児歯科大人歯科医院）らにより、自身の臨床経験に基づいた詳細な振り返りがありました。それぞれの講演に対し、総合歯科医としての気付きと今後の取り組みについて活潑なディスカッションが行われました。



シンポジウムでのディスカッション

3年ぶりの対面開催により質疑応答も盛り上がり、盛会となりました。

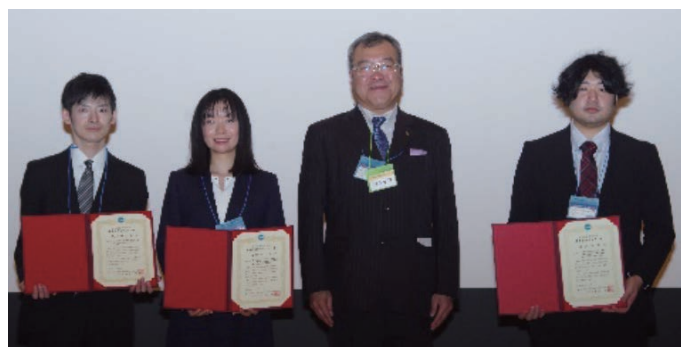
閉会式では、奨励賞として、学会論文賞、優秀口演賞、優秀若手ポスター賞の表彰が行われました。



学会論文賞表彰



優秀口演賞表彰



優秀若手ポスター賞表彰

Web開催では、現地開催と同じコンテンツがオンデマンドで視聴することができ、コロナ禍で現地参加を見合わせた参加者にとって利便性は高いと思われます。現地とWebのハイブリッド開催は今後の学術大会運営の新たな選択肢となり得ることが感じられました。

最後になりましたが、本学術大会を開催、遂行するにあたり、様々なご指導やご助言をいただきました鳥井康弘前理事長、長谷川篤司現理事長をはじめ役員・理事の先生方、特別講演、教育講演、シンポジウムの講師の先生方、口演、ポスター発表の演者および座長を行っていただいた先生方、後援、協賛をいただきました各団体、企業の皆様、分野、同門会の皆様、そして大会にご参加いただいた会員・非会員の皆様に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。